



プレスリリース

一般社団法人 日本原子力学会

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、多くの方々が犠牲となられ、また被災されたことについて心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる**学術・技術専門家集団として社会への情報提供**を行うため、本会の主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故を受けて、本会に設置した「原子力安全」調査専門委員会において行ってまいりました調査・検討の結果の報告を行うとともに、多くの方々からのご意見を頂くための**緊急シンポジウム**の開催のお知らせです。

「福島第一原子力発電所事故に関する緊急シンポジウム」の開催

東日本大震災発生直後から日本原子力学会では、福島第一原子力発電所の事故を日本の原子力開発史上、最悪のものと受け止め、学会としての基本スタンスの公表、異常事象解説チーム（チーム110）による事故・事象の社会に向けての解説、社会からの問い合わせ対応、事故処理に向けての提言等、緊急に必要な諸活動を行ってまいりました。

完全なる事態収拾には至っていないものの、事象収束と今後の教訓に資するために、本会では学術的、技術的見地からの本格的な学会活動として、4月5日に「原子力安全」調査専門委員会を立ち上げ、技術分析分科会、放射線影響分科会、クリーンアップ分科会を設置して現状の把握、分析や教訓の抽出および影響低減等の検討を進めてきました。

今回はこれまでの調査・検討の結果を広く公開し、多くの方々からご意見を頂き、安全の不断の追求と環境回復に向けて役立てて行きたいと考えております。

日時： 2010年5月21日（土）13：30 - 17：20（12：30開場）

場所： 都市センターホテル コスモスホール（定員700名）

<http://www.toshicenter.co.jp/access/index.html>

主催： 一般社団法人日本原子力学会

プログラム：

- 13：30 - 13：35 開会あいさつ・・・調査専門委員会主査 澤田 隆（日本原子力学会副会長）
- 13：35 - 14：00 福島第一原子力発電所事故に関する学会の活動概要・日本原子力学会長 辻倉 米蔵
- 14：00 - 15：00 原子炉の現状推定と事故から学ぶもの・・・技術分析分科会 岡本 孝司
- 15：00 - 15：15 休憩
- 15：15 - 16：15 放射線影響分科会報告
 - 1) 放射線影響分科会の活動・・・放射線影響分科会主査 占部 逸正
 - 2) 汚染状況に関する情報収集・・・放射線影響分科会 服部 隆利
 - 3) 大気拡散の状況と放出率の推定・・・放射線影響分科会 山澤 弘実
- 16：15 - 17：15 地域復興に向けての課題・・・クリーンアップ分科会 井上 正
- 17：15 - 17：20 閉会あいさつ・・・日本原子力学会副会長 田中 知

取材申込み： 5月19日（木）までに、所属組織、氏名、連絡先（メールアドレスおよび携帯電話番号）、取材人数（記者、カメラマン、TVカメラの台数）を電子メールでお申し込み下さい。

申込み先： aesj-symp@aesj.or.jp

日本原子力学会への取材等お問合せ担当
調査専門委員会主査（日本原子力学会副会長）：澤田 隆 / E-mail: QandA_gb@aesj.or.jp